

週間感染症情報

2020年38-39週 2020年9月14日より2020年9月27日まで

38週 39週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	4	4
手足口病	6	5
ヘルパンギーナ	7	6
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	24	17
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	6	7
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	1	
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

38-39週の報告です。感染症の患者さんは少ないです。

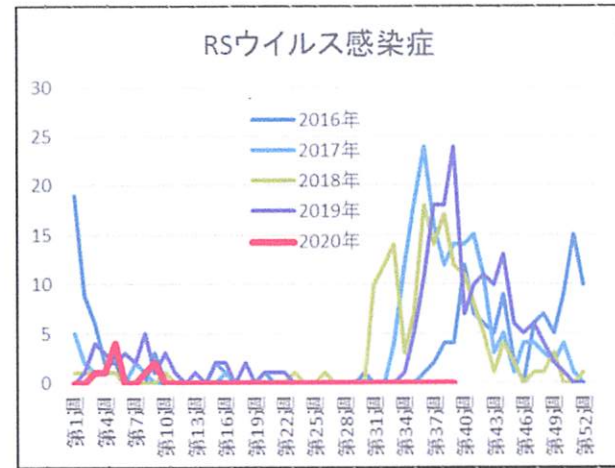
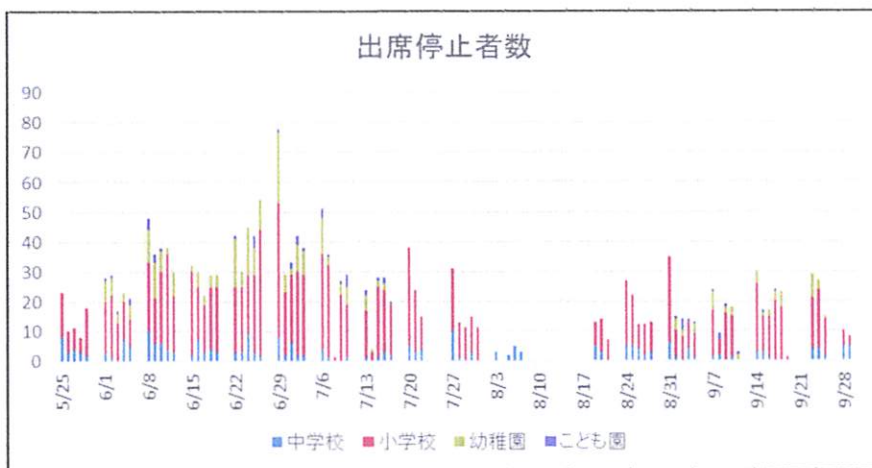
喘息などアレルギーの患者さんが増えてきました。

左下のグラフのように出席停止者の報告も少なく、9月以降25人前後で、特別な感染症の流行はありません。

手足口病やヘルパンギーナなど、夏のエンテロウイルス感染症の流行を幼稚園や保育園で見かけますが、大きな流行にはなっていません。

カンピロバクター7例、サルモネラ07群2例の報告がありました。連休があり、焼き肉関連の細菌性胃腸炎の報告が増えています。また、真備地区で1歳児と9歳の兄弟例が、ノロウイルス胃腸炎でした。嘔吐が激しく輸液が必要でした。感染源は不明です。

RSウイルス感染症は、右下のグラフのように、いつもの年ですと報告のピークがこの時期に来るのですが今年10週から報告はありません。全国的な傾向です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。

<http://miyakenaika.com>)